

## 日常生活圏域ニーズ調査及び訪問による聞き取り調査結果

### 1. 目的

高齢者の自立を支援するためには、高齢者の身近なところで自立支援に資するサービスが提供される必要があります。そのため、日常生活圏域ニーズ調査の結果をもとに高齢者の生活状況を把握することにより、高齢者の抱える課題を明らかにし、地域の実情や対象者のニーズに応じた事業の展開をはかることを目的に実施しました。

### 2. ニーズ調査概要

#### 1) 調査方法

平成 22 年 12 月末現在で施設入所者、要介護認定において要介護 3 以上の者を除外した 65 歳以上の町内在住者に調査用紙を郵送にて配布。記入については記名で本人または家族等による自己記入式とし、郵送または持参による回収としました。

#### 2) 調査期間

平成 23 年 2 月～3 月

#### 3) 調査内容

日常生活圏域ニーズ調査用紙に準じて調査票を作成し、地域性等をふまえ、回答項目・質問項目を追加。

- ・問 2-Q 7-1 外出を控えている理由について、「移動手段がない」を回答項目に追加
- ・問 6-Q 1 7 家事全般ができていないかについて、「できるけどしていない」を回答項目に追加
- ・問 7-Q 1 2 地域活動等に参加しているかについて、「寿大学」を回答項目に追加
- ・介護予防事業への参加意向についての質問項目を追加

問 9-1 今後、介護予防事業への参加を希望しますか

1. 希望する      2. 身近な場所であれば希望する      3. 希望しない

#### 4) 回収状況

調査用紙は 1,751 名に配布し、1,481 名から回答が得られました。(回収率は 84.6%)

未回収者の状況についてみると、若い年代のほうが回収率は低く、就労についていたり、介護に対する関心がまだ低いことが誘因になっていると考えられます。

また、地区別では一人暮らしの割合の高い地区や近くに郵便の投函場所が少ない地区での回収率が低くなっていることから、自己記入方式で郵送による回収としたため、記入・返送の大変さが影響したと考えられます。

表 1 回収状況 (年齢別)

(単位：人)

年齢	配布対象者			回収者			未回収者		
	男	女	総計	男	女	総計	男	女	総計
65～69 歳	194	201	395	138	156	294 (74.4%)	56	45	101 (25.6%)
70～74 歳	202	221	423	168	186	354 (83.7%)	34	35	69 (16.3%)
75～79 歳	184	228	412	155	213	368 (89.3%)	29	15	44 (10.7%)
80～84 歳	119	165	284	102	150	252 (88.7%)	17	15	32 (11.3%)
85～89 歳	60	105	165	59	88	147 (89.1%)	1	17	18 (10.9%)
90 歳以上	14	58	72	14	52	66 (91.7%)	0	6	6 (8.3%)
計	773	978	1751	636	845	1481 (84.6%)	137	133	270 (15.4%)

表2 回収状況（地区別）

（単位：人）

地区	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90歳 以上	総計	平均 年齢	回収率
共立	7	7	4	10	8	4	40	79.2歳	88.9%
大成	5	7	9	7	6	1	35	77.9歳	81.4%
栄	1	4	10	5			20	77.2歳	95.2%
啓生	6	7	3	4	2	1	23	75.3歳	88.5%
栃木	5	6	7	8	3	1	30	77.9歳	100.0%
川西	6	2	4	5	3	3	23	79.0歳	92.0%
中園	3	4	7	1	2	1	18	76.2歳	75.0%
若佐	20	22	33	21	10	8	114	77.4歳	83.8%
武士	3	3	9	2	3		20	76.7歳	66.7%
朝日	2		4	2	3	1	12	80.5歳	92.3%
富丘	3	9	6	6	3	1	28	76.7歳	80.0%
西富	53	63	42	28	16	8	210	75.0歳	84.7%
北	11	15	13	10	2	2	53	75.3歳	82.8%
宮前町	61	69	62	48	31	12	283	76.2歳	89.3%
永代町	14	21	36	17	8	4	100	76.9歳	88.5%
幸町	10	13	12	8	4	1	48	75.9歳	98.0%
東	8	4	5	1	3	1	22	74.6歳	78.6%
知来	7	14	15	12	2	3	53	76.8歳	74.6%
仁倉	7	12	15	12	8	4	58	78.4歳	81.7%
浜佐呂間	24	38	28	17	7	4	118	75.2歳	83.1%
幌岩	8	6	8	3	3	1	29	75.1歳	76.3%
浪速		2	2			1	5	79.0歳	62.5%
富富士	17	15	17	10	12	2	73	76.2歳	91.3%
若里	13	11	17	15	8	2	66	76.7歳	70.2%
計	294	354	368	252	147	66	1481	76.4歳	84.6%

### 3. ニーズ調査結果

#### 1) 年齢

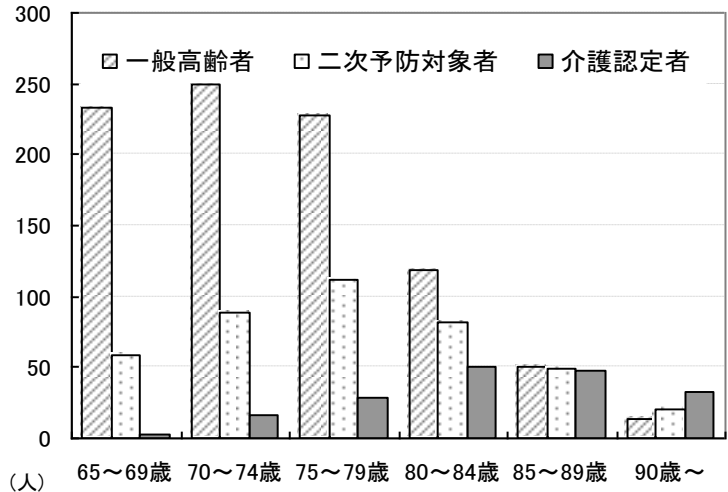
年齢構成別にみると70歳代が最も多く、男性は70～74歳をピークに、女性は75～79歳をピークに減少傾向となり、80歳以降は要支援・要介護認定者（以下「介護認定者」という）の割合が増加しています。

表3 年齢構成

(単位：人)

年齢	男	女	計
65～69歳	138	156	294
70～74歳	168	186	354
75～79歳	155	213	368
80～84歳	102	150	252
85～89歳	59	88	147
90歳以上	14	52	66
計	636	845	1481

図1 介護認定別年齢構成



2) 世帯構成

世帯構成をみると、一人暮らしは全体の14.6%をしめており、地域別でみると若佐地区・市街地区での一人暮らしの割合が高くなっています。農業や漁業の就業者が多い地区では同居率が高く、家業の有無が影響をしていると考えられます。

表4 世帯構成 (地区別)

(単位：人)

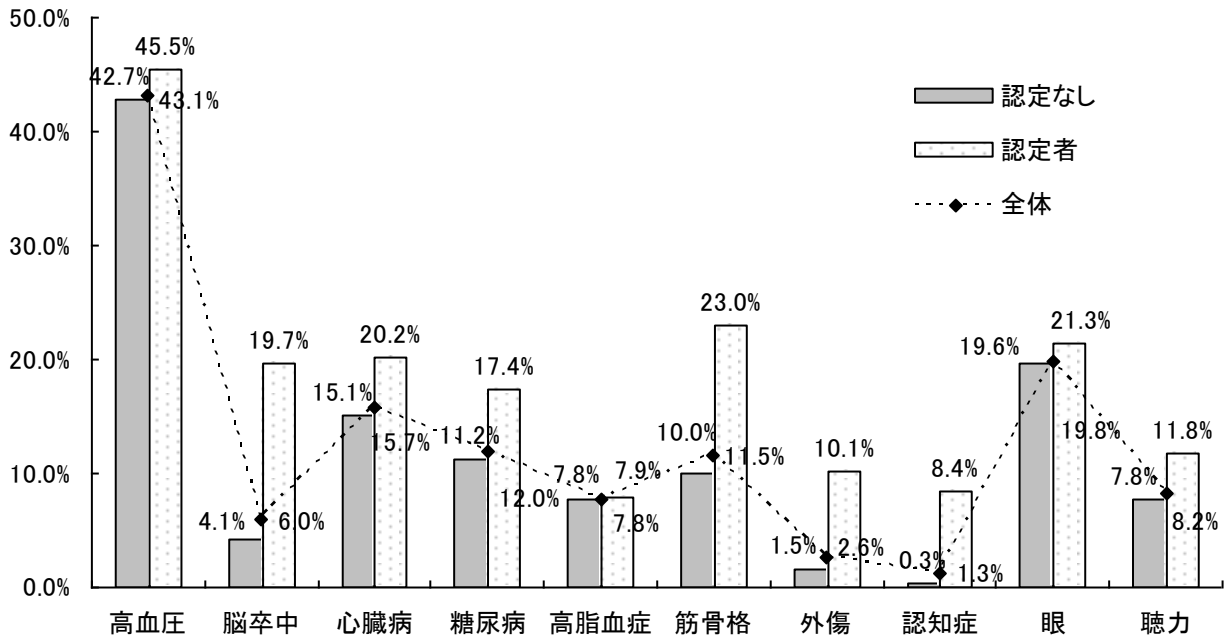
地区	計	一人暮らし		同居		施設等		
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	割合
共立	40	2	5.0%	38	95.0%			0.0%
大成	35	4	11.4%	29	82.9%			
栄	20	7	35.0%	13	65.0%			
啓生	23		0.0%	23	100.0%			
栃木	30	2	6.7%	28	93.3%			
川西	23	2	8.7%	18	78.3%	1	4.3%	
中園	18	4	22.2%	14	77.8%			
若佐	114	22	19.3%	89	78.1%			0.8%
武士	20	6	30.0%	14	70.0%			
朝日	12	3	25.0%	8	66.7%	1	8.3%	
富丘	28	2	7.1%	26	92.9%			
西富	210	48	22.9%	157	74.8%			
北	53	7	13.2%	42	79.2%	2	3.8%	
宮前町	283	36	12.7%	220	77.7%	23	8.1%	
永代町	100	23	23.0%	76	76.0%			3.4%
幸町	48	7	14.6%	41	85.4%			
東	22	5	22.7%	15	68.2%			
知来	53	3	5.7%	46	86.8%	1	1.9%	
仁倉	58	3	5.2%	54	93.1%			
浜佐呂間	118	13	11.0%	101	85.6%			0.0%
幌岩	29	3	10.3%	26	89.7%			
浪速	5	1	20.0%	4	80.0%			
富武士	73	4	5.5%	65	89.0%	2	2.7%	2.9%
若里	66	9	13.6%	54	81.8%	2	3.0%	
計	1481	216	14.6%	1201	81.1%	32	2.2%	

### 3) 疾病状況

現在治療中、または後遺症のある病気については、『高血圧』で治療をされている人の割合が全体で43.1%と最も高く、次いで『眼疾患』19.8%、『心臓病』15.7%、『糖尿病』12.0%となっています。

介護認定の有無で比較をすると、介護認定者では『筋骨格系の病気』『脳卒中』『外傷』『認知症』の割合が認定をうけていない方と比して高くなっており、これらの疾患が介護の要因になっていることがうかがわれます。

図2 現在治療中の病気（認定の有無別）



### 4) 就労状況

仕事の有無については、年齢が低くなると仕事をしている方の割合も多く、65～69歳では35.0%の方が収入のある仕事をしています。

地区別では仁倉・浜佐呂間・啓生で20%を超えており、海岸沿いの地域での仕事をしている方の割合が他の地区に比べて高くなっていることから、漁業の手伝いで収入を得たり、畑仕事を継続し収入を得ていると考えられます。

表5 就労状況（年齢別）

（単位：人）

年齢	総数	している		していない		(空白)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
65～69歳	294	103	35.0%	171	58.2%	20	6.8%
70～74歳	354	61	17.2%	269	76.0%	24	6.8%
75～79歳	368	35	9.5%	306	83.2%	27	7.3%
80～84歳	252	7	2.8%	222	88.1%	23	9.1%
85～89歳	147	2	1.4%	137	93.2%	8	5.4%
90歳以上	66	0	0.0%	59	89.4%	7	10.6%
計	1481	208	14.0%	1164	78.6%	107	7.2%

表6 就労状況（地区別）

（単位：人）

地区	している			していない			（空白）		
共立	5	12.5%	10.2%	28	70.0%	78.8%	7	17.5%	11.0%
大成	2	5.7%		31	88.6%		2	5.7%	
栄		0.0%		18	90.0%		2	10.0%	
啓生	5	21.7%		16	69.6%		2	8.7%	
栃木	2	6.7%	10.6%	27	90.0%	82.0%	1	3.3%	7.3%
川西	3	13.0%		16	69.6%		4	17.4%	
中園	1	5.6%		13	72.2%		4	22.2%	
若佐	15	13.2%		94	82.5%		5	4.4%	
武士	2	10.0%		15	75.0%		3	15.0%	
朝日	1	8.3%		11	91.7%			0.0%	
富丘	2	7.1%		25	89.3%		1	3.6%	
西富	30	14.3%	13.0%	168	80.0%	80.5%	12	5.7%	6.5%
北	4	7.5%		45	84.9%		4	7.5%	
宮前町	34	12.0%		227	80.2%		22	7.8%	
永代町	18	18.0%		79	79.0%		3	3.0%	
幸町	4	8.3%		40	83.3%		4	8.3%	
東	2	9.1%		18	81.8%		2	9.1%	
知来	8	15.1%		42	79.2%		3	5.7%	
仁倉	15	25.9%	21.4%	37	63.8%	69.5%	6	10.3%	9.0%
浜佐呂間	26	22.0%		84	71.2%		8	6.8%	
幌岩	4	13.8%		20	69.0%		5	17.2%	
浪速		0.0%		5	100.0%			0.0%	
富富士	12	16.4%	18.0%	55	75.3%	75.5%	6	8.2%	6.5%
若里	13	19.7%		50	75.8%		3	4.5%	
計	208	14.0%		1164	78.6%		107	7.2%	

## 5) 二次予防対象者の状況

日常生活で必要となる機能（以下「生活機能」という）の低下のある方は要介護状態になるおそれの高い状態にあると認められます。そのため、基本チェックリスト（全 25 項目の質問紙）により生活機能の低下の認められる方（以下「二次予防対象者」という）を早期に把握し、介護状態への移行を予防していく必要があります。

表7 二次予防対象者判定基準

項目	内容
①運動機能低下	問2Q1～3・問3Q1,2の5項目のうち3項目以上に該当
②低栄養	問4Q1に該当かつQ2においてBMI18.5未満
③口腔機能低下	問4Q3～5の3項目のうち2項目以上に該当
④閉じこもり	問2Q5,6のうちQ5に該当
⑤物忘れ	問5Q1～3の3項目のうちいずれかに該当
⑥うつ	問8Q8～Q12の5項目のうち2項目以上に該当
⑦虚弱	問6Q1,2,5・問7Q5,6および上記①～⑤の20項目中、10項目以上該当

※ ①・②・③・⑦に該当する方を二次予防対象者とし、二次予防対象者となった方で④・⑤・⑥に該当する方については、うつ・閉じこもり・認知症の予防や支援についても考慮する。

### ①年齢構成

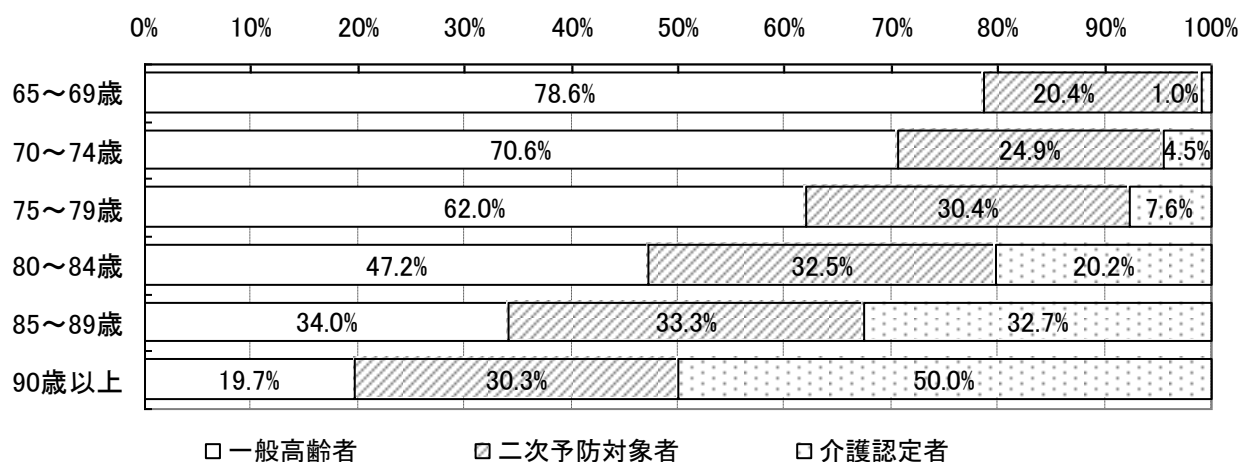
年齢構成別にみると、年代が高くなるにしたがい二次予防対象者の割合が増加しており、加齢が生活機能低下の要因となっています。

表8 介護度別年齢構成

(単位：人)

年齢	一般高齢者	二次予防対象者	介護認定者	介護認定者内訳			
	実(割合)	実(割合)	実(割合)	支援1	支援2	介護1	介護2
65～69歳	231 (78.6%)	60 (20.4%)	3 (1.0%)	2		1	
70～74歳	250 (70.6%)	88 (24.9%)	16 (4.5%)	7	5	3	1
75～79歳	228 (62.0%)	112 (30.4%)	28 (7.6%)	20	2	5	1
80～84歳	119 (47.2%)	82 (32.5%)	51 (20.2%)	29	11	6	5
85～89歳	50 (34.0%)	49 (33.3%)	48 (32.7%)	24	12	11	1
90歳以上	13 (19.7%)	20 (30.3%)	33 (50.0%)	18	6	7	2
計	891 (60.2%)	411 (27.6%)	179 (12.1%)	100	36	33	10

図3 二次予防対象者の割合(年齢別)



### ②世帯構成

一人暮らしと家族と同居している方で二次予防対象者の割合を比較すると、一人暮らしの方では29.6%、家族と同居の方は27.7%と差異はみられませんでした。

表9 二次予防対象者の世帯構成

(単位：人)

区分	総数	一般高齢者		二次予防対象者		介護認定者	
一人暮らし	216	119	55.1%	64	29.6%	33	15.3%
家族と同居	1201	737	61.4%	333	27.7%	131	10.9%
その他施設等	32	14	43.8%	7	21.9%	11	34.4%
(空白)	32	21	65.6%	7	21.9%	4	12.5%
計	1481	891	60.2%	411	27.8%	179	12.1%

## ③地区

地区別での二次予防対象者の割合をみると、共立・栄・朝日・富丘・幌岩で40%を超えており、栄地区と若佐地区では二次予防対象者および介護認定者の割合がやや高めの傾向がありました。この地域は平均年齢も他より高く、高齢な方が多いことが影響をしていると考えられます。

表10-1 二次予防対象者の割合（地区別）

(単位：人)

地区	一般高齢者	二次予防対象者		介護認定者		内訳			
						支援 1	支援 2	介護 1	介護 2
共立	18 (45.0%)	16 (40.0%)	28.0%	6 (15.0%)	23.7%	5		1	
大成	19 (54.3%)	4 (11.4%)		12 (34.3%)		10	1	1	
栄	7 (35.0%)	8 (40.0%)		5 (25.0%)		4	1		
啓生	13 (56.5%)	5 (21.7%)		5 (21.7%)		2	1	2	
栃木	19 (63.3%)	10 (33.3%)	33.9%	1 ( 3.3%)	11.4%				1
川西	13 (56.5%)	8 (34.8%)		2 ( 8.7%)				2	
中園	13 (72.2%)	3 (16.7%)		2 (11.1%)				1	1
若佐	60 (52.6%)	43 (37.7%)		11 ( 9.6%)		6		3	2
武士	14 (70.0%)	2 (10.0%)		4 (20.0%)		1		3	
朝日	3 (25.0%)	5 (41.7%)		4 (33.3%)		2	1	1	
富丘	12 (42.9%)	12 (42.9%)		4 (14.3%)		1	1	2	
西富	137 (65.2%)	51 (24.3%)	24.8%	22 (10.5%)	10.8%	12	7	3	
北	36 (67.9%)	10 (18.9%)		7 (13.2%)		3	2	2	
宮前町	193 (68.2%)	64 (22.6%)		26 ( 9.2%)		16	6	4	
永代町	54 (54.0%)	31 (31.0%)		15 (15.0%)		8	3	3	1
幸町	29 (60.4%)	13 (27.1%)		6 (12.5%)		4	1	1	
東	13 (59.1%)	7 (31.8%)		2 ( 9.1%)		1	1		
知来	33 (62.3%)	15 (28.3%)		5 ( 9.4%)		1	2		2

表10-2 二次予防対象者の割合（地区別）

（単位：人）

地区	一般高齢者	二次予防対象者	介護認定者	内訳			
				支援 1	支援 2	介護 1	介護 2
仁倉	32 (55.2%)	18 (31.0%)	8 (13.8%)	5	2		1
浜佐呂間	69 (58.5%)	34 (28.8%)	15 (12.7%)	7	5	2	1
幌岩	15 (51.7%)	13 (44.8%)	1 (3.4%)	1			
浪速	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1			
富富士	47 (64.4%)	21 (28.8%)	5 (6.8%)	4		1	
若里	38 (57.6%)	18 (27.3%)	10 (15.2%)	6	2	1	1
計	891 (60.2%)	411 (27.8%)	179 (12.1%)	98	36	33	10

## ④生活機能低下項目

基本チェックリストにおける二次予防対象者の該当項目をみると、運動機能低下のある方が67.6%と最も多くなっています。

介護認定者と該当項目について比較をすると、介護認定者では『閉じこもり』『虚弱』の割合が高くなっており、二次予防対象者についても『閉じこもり』『虚弱』の方については介護状態になるリスクが高い可能性があります。

表11 基本チェックリスト該当項目

（単位：人）

区 分	二次予防対象者 実 (割合)	介護認定者 実 (割合)
①二次予防事業対象者（実人数）	411 (100.0%)	145 (81.0%)
a. 運動機能低下	278 (67.6%)	127 (70.9%)
b. 低栄養	17 (4.1%)	4 (2.2%)
c. 口腔機能低下	221 (53.8%)	79 (44.1%)
d. 虚弱	77 (18.7%)	96 (53.6%)
②閉じこもり	98 (23.8%)	76 (42.5%)
③物忘れ	217 (52.8%)	128 (71.5%)
④うつ	191 (46.5%)	100 (55.9%)

※介護認定者179名中34名(19.0%)は基本チェックリストにおいて非該当。

## 6) 介護の必要性

現在、介護を必要としているかどうかの設問について、介護認定をうけていない方のうち『何らかの介護をうけている』方が2.1%、『必要と感じているが受けていない』方は5.6%いました。特に、二次予防対象者は生活機能の低下のおそれもあり、まだ介護はうけていないものの、11.7%が介護の必要性を感じていました。

介護認定者では『何らかの介護をうけている』方が約半数となっていますが、介護が『必要ない』と感じていたり、『必要だが現在は受けていない』方もそれぞれ2割近くおり、身体機能の低下や生活の中での大変さはあるものの、自身のことや身の回りのことは継続して実施されていることがうかがわれます。



表 1 2 介護の必要性和実際の介護の有無（介護度別）

（単位：人）

区 分	必要ない		必要だが 受けていない		何らかの介護を うけている		未記入		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
認定なし	1003	77.0%	73	5.6%	27	2.1%	199	15.3%	1302
一般高齢者	717	80.5%	25	2.8%	10	1.1%	139	15.6%	891
二次予防対象	286	69.6%	48	11.7%	17	4.1%	60	14.6%	411
介護認定者	37	20.7%	33	18.4%	84	46.9%	25	14.0%	179
支援 1	24	24.0%	21	21.0%	37	37.0%	18	18.0%	100
支援 2	6	16.7%	4	11.1%	22	61.1%	4	11.1%	36
介護 1	6	18.2%	6	18.2%	19	57.6%	2	6.1%	33
介護 2	1	10.0%	2	20.0%	6	60.0%	1	10.0%	10
計	1040	70.2%	106	7.2%	111	7.5%	224	15.1%	1481

7) 介護が必要になった主な要因

介護認定者における介護になった要因は、『脳卒中』『加齢による衰弱』が 18.6%と最も多く、次いで『関節の病気』『心疾患』が 11.9%、『認知症』が 10.2%となっています。また、『糖尿病』『骨折・転倒』も 9.0%と割合は高めになっています。

実際の介護の有無と介護要因をみると、『脳卒中』や『心臓病』『がん』については介護を受けている割合が高くなっています。他の疾患については割合の差は少ないことから、関節の病気や認知症等の介護の要因があっても日常生活への大きな支障がなければ、直接的な介護をうけずに見守りの中で生活を送ることができることと示唆されます。

図 4 介護が必要になった要因（認定の有無別）

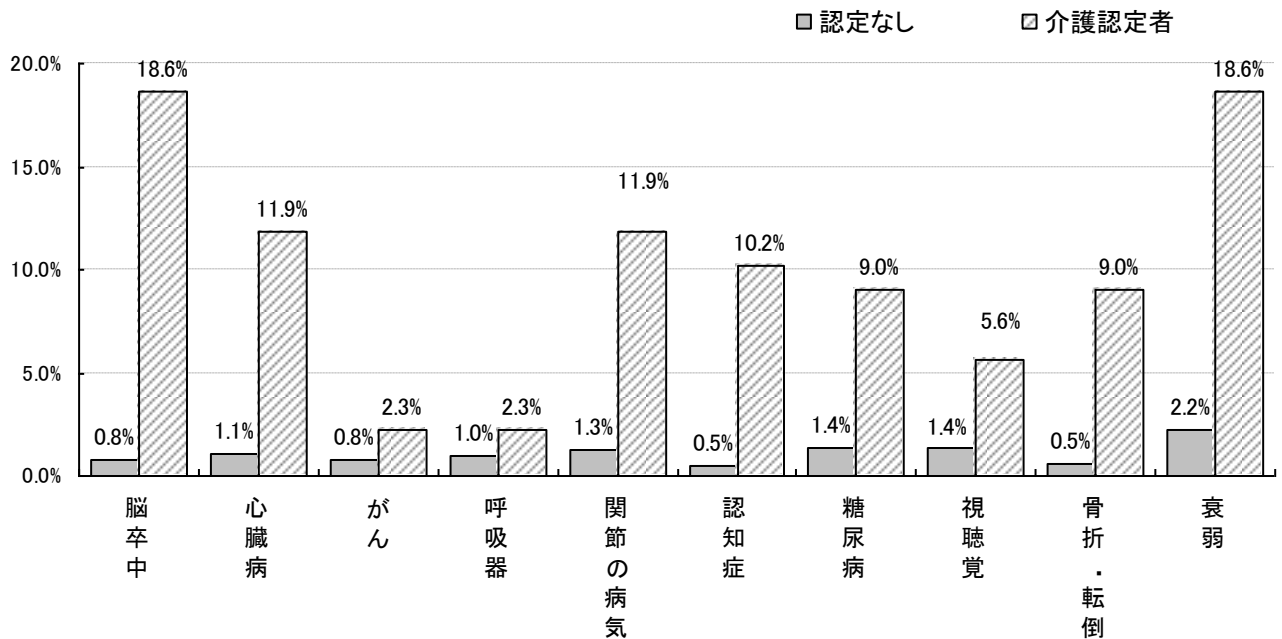
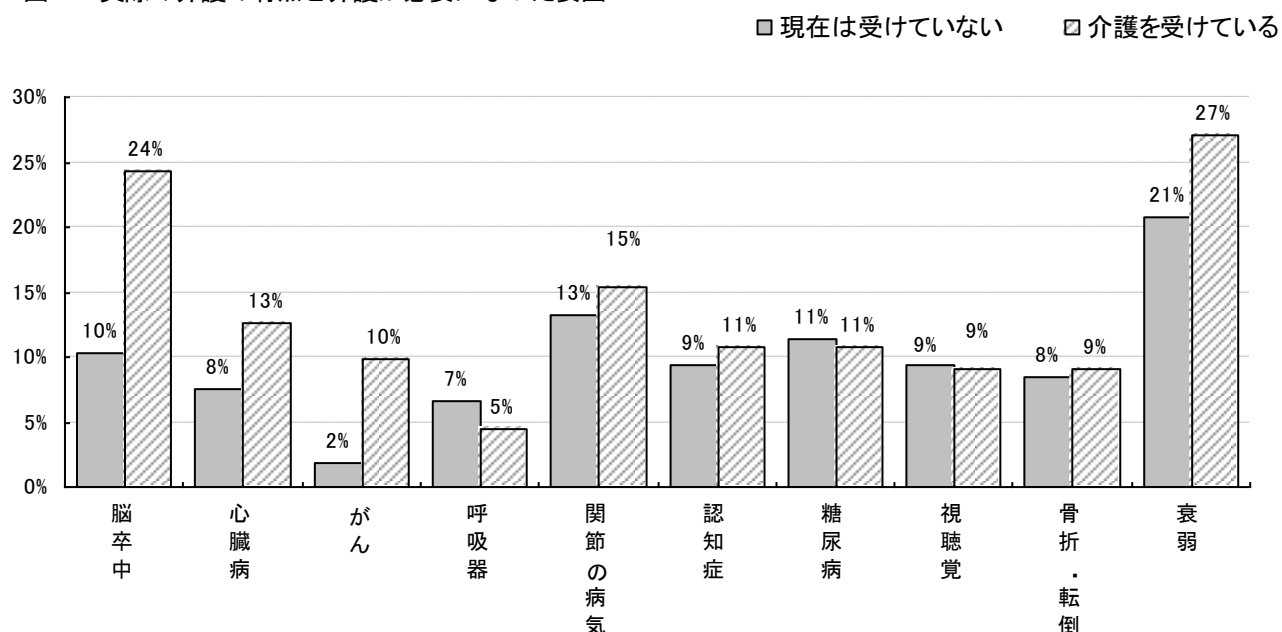


図5 実際の介護の有無と介護が必要になった要因



### 8) 運動機能について

運動機能について、低下を感じやすい項目は『歩く速度』であり、一般高齢者については半数、二次予防対象者および介護認定者については86%が歩く速度の低下を感じています。また、『転倒に対する不安』も感じやすく、一般高齢者でも35%が不安を感じています。

その他、椅子からの立ち上がりや階段を上る際に何かにつかまったり、支えを要する方が一般高齢者に比して二次予防対象者や介護認定者は多くなっており、下肢筋力の低下がみられています。また、介護認定者では『杖を使用する』方も多く、歩行の不安定さがみられ、15分位続けて歩くことも少なくなっていますが、『5m以上歩ける』力は保持されており、家の中や家の周りでの活動は行えていると考えられます。

地域別にみると、栄地区において運動機能の低下に該当する割合が高く、地理的な影響もあり冬期間の活動が低下していることが影響していると考えられます。

表13 運動機能（介護度別）

区 分	一般高齢者		二次予防対象者		介護認定者	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	70.2%	20.7%	27.4%	67.7%	17.9%	70.4%
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	92.9%	3.1%	55.3%	40.8%	31.8%	64.8%
15分位続けて歩いていますか	86.3%	9.2%	58.9%	38.1%	38.0%	56.4%
5m以上歩けますか	94.8%	1.0%	89.5%	5.4%	75.4%	19.6%
この1年間に転んだことがありますか	17.6%	76.4%	49.6%	46.9%	55.3%	39.7%
転倒に対する不安は大きいですか	34.7%	57.4%	77.8%	17.8%	84.9%	10.1%
背中が丸くなってきましたか	25.1%	67.7%	53.1%	42.8%	61.5%	30.7%
以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	50.5%	45.6%	85.6%	12.7%	85.5%	9.5%
杖を使っていますか	4.4%	90.4%	24.7%	71.6%	64.8%	31.8%

図6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

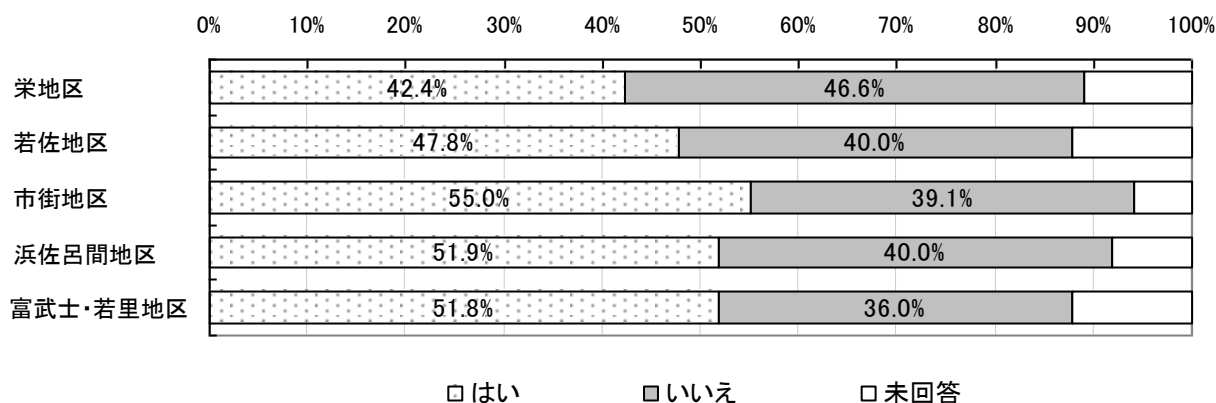


図7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

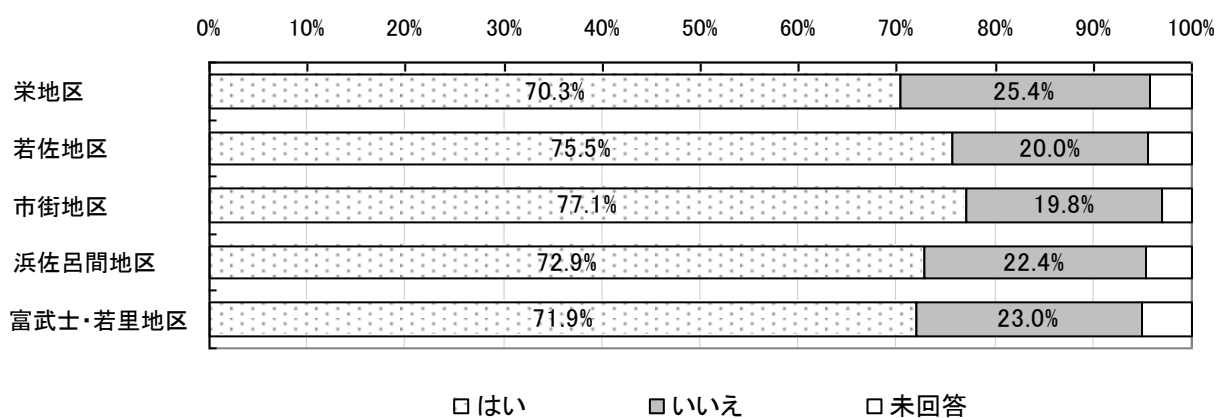


図8 15分位続けて歩いていますか

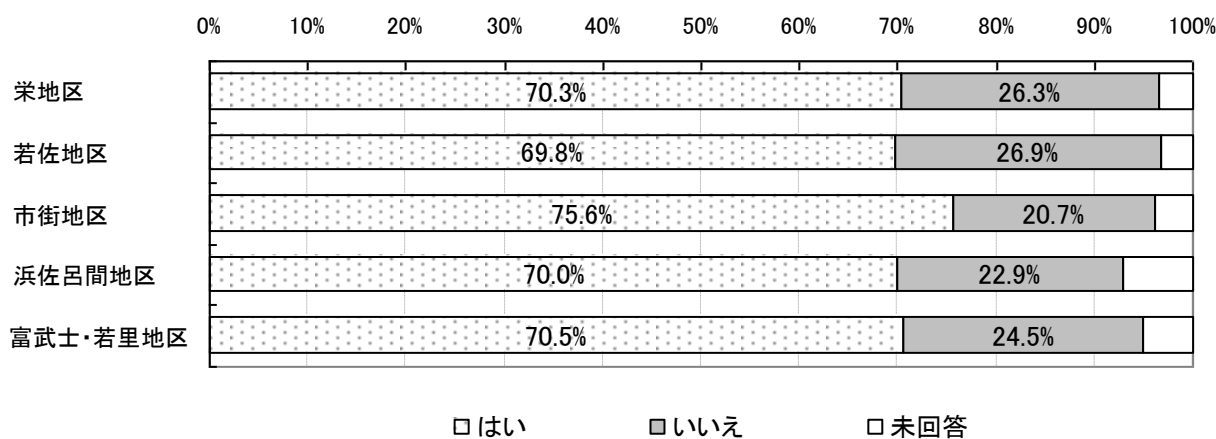


図9 5m以上歩けますか

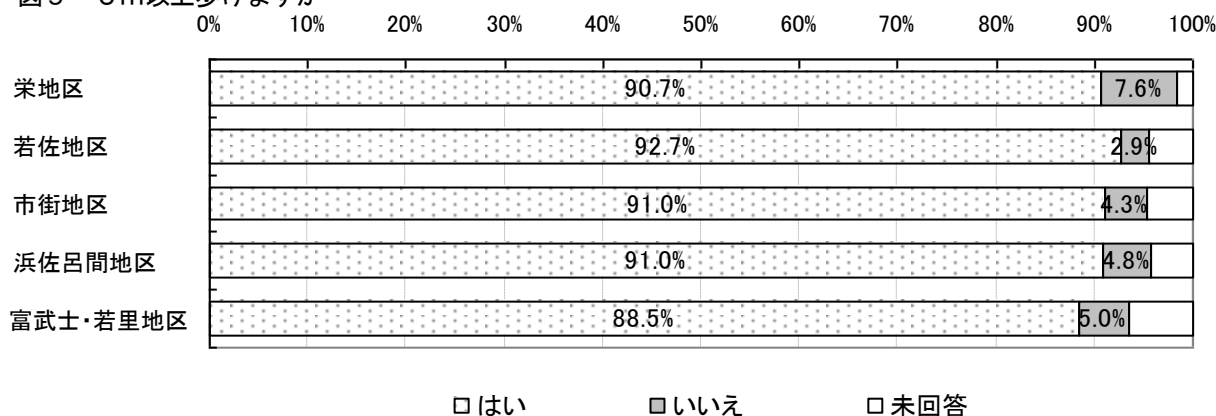


図10 この1年間に転んだことがありますか

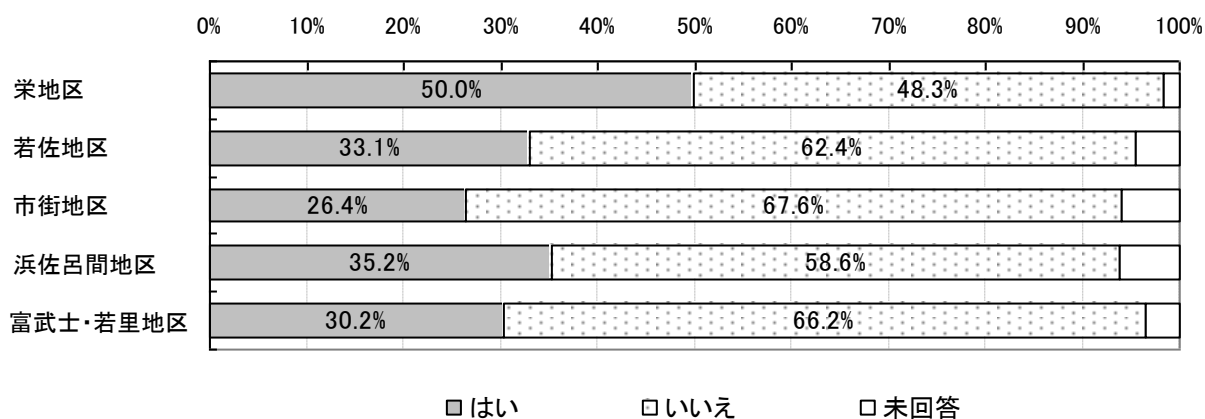


図11 転倒に対する不安は大きいですか

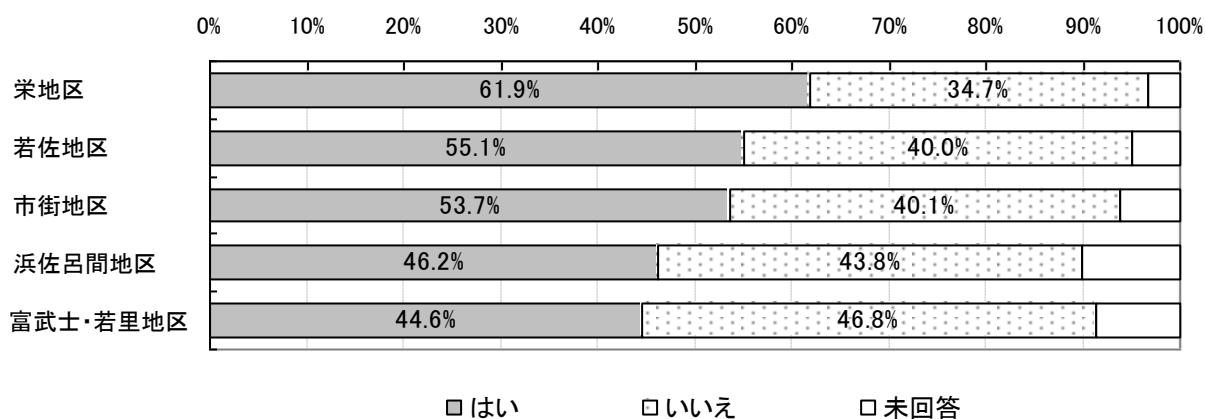


図12 背中が丸くなってきましたか

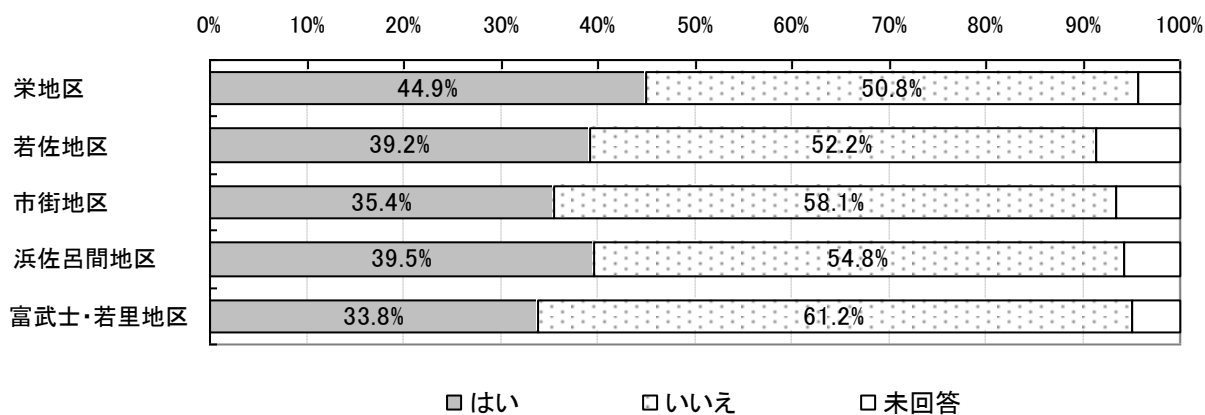


図13 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか

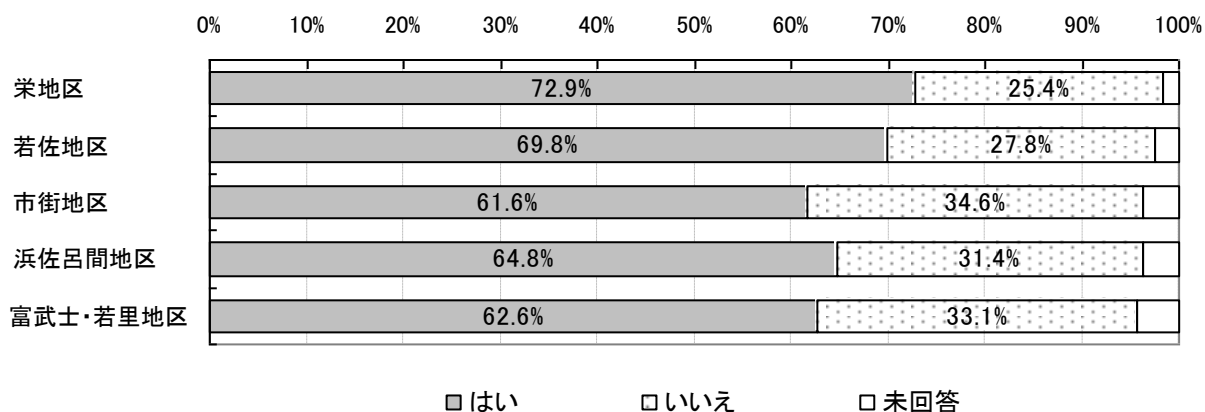
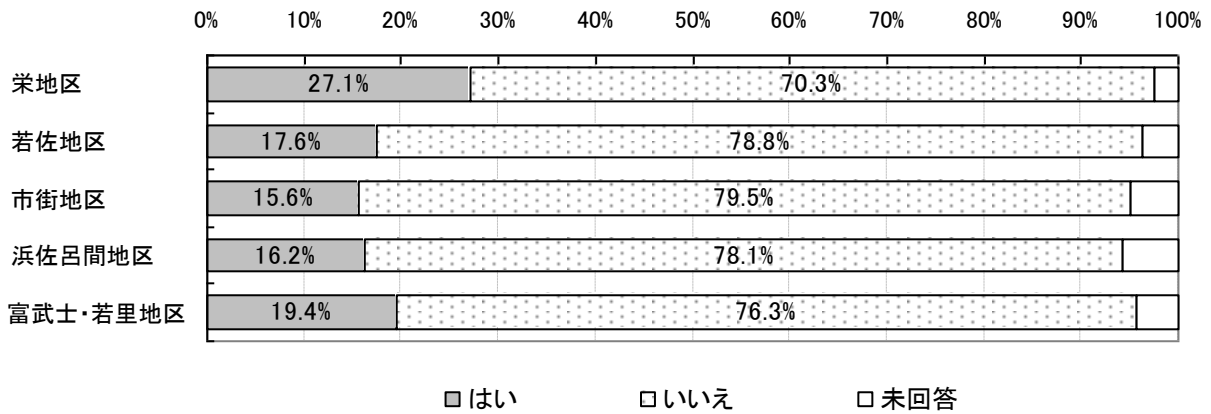


図14 杖を使っていますか



### 9) 閉じこもりについて

『週1回以上は外出をしていますか』の設問について、介護認定者では「いいえ」と回答した方が42.5%と多く、二次予防対象者についても、週1回以上は外出をしているものの『昨年と比べて外出の回数が減っている』『外出を控えている』という方の割合が高く外出の機会が少なくなっています。外出を控える理由としては「痛み」が最も多く、栄地区ではその他に「楽しみがない」「移動手段がない」も他の地域に比べてやや高めの割合となっています。

買い物で外出をする頻度については、『週1回未満』と答える方が一般高齢者では13.8%と少ないのに対し、介護認定者では33.0%と家事支援を必要としている割合が高くなっています。

散歩で外出をする頻度は調査時期が冬期間であり、回答率は低くなっていますが、一般高齢者では約半数が週2日以上は散歩に出ており、26.8%は『ほぼ毎日』散歩をしています。二次予防対象者、介護認定者でも『週に2、3日』散歩をしている方はそれぞれ、10.0%、14.0%おり、外出や散歩の機会は少なくなっているものの、歩く力を落とさないよう意識していることがうかがわれます。

地区別にみると、『週に1回以上は外出をしていますか』の設問について、「いいえ」と回答した方の多い上位5地区は栄(50.0%)、啓生(30.4%)、若里(27.3%)、仁倉(24.1%)、共立(22.5%)であり、栄地区で閉じこもりの傾向がみられています。また、『昨年と比べて外出の回数が減っている』について「はい」と回答した方の多い地区は朝日(83.3%)、栄(75.0%)、浪速・武士(60.0%)、共立(55.0%)であり、これらの地区は平均年齢の高い地区でもあることから加齢や交通の便が影響していると考えられます。

『外出を控えていますか』という設問については、栄(70.0%)、朝日(50.0%)、東(45.5%)で外出を控える方が多くなっており、これらの地区については一人暮らしの割合が他の地区よりも高く、転倒への不安も高いことから、冬期間の転倒によるケガを心配し外出を控えている可能性があると考えられます。

表14-1 閉じこもりの状況(介護度別)

区 分	一般高齢者		二次予防対象者		介護認定者	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
週に1回以上は外出していますか	88.0%	8.1%	73.3%	24.0%	53.1%	42.5%
昨年度比べて外出の回数が減っていますか	22.6%	73.1%	52.8%	44.7%	66.5%	28.5%
外出を控えていますか	16.5%	77.3%	46.7%	49.4%	62.0%	31.8%

表 1 4-2 閉じこもりの状況（介護度別）

(単位：人)

区 分		一般高齢者		二次予防対象者		介護認定者	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
買い物で外出する頻度はどれくらいですか	ほぼ毎日	51	5.7%	18	4.4%	2	1.1%
	週 4, 5 日	77	8.6%	32	7.8%	3	1.7%
	週 2, 3 日	244	27.4%	85	20.7%	13	7.3%
	週 1 日	215	24.1%	84	20.4%	17	9.5%
	週 1 日未満	123	13.8%	91	22.1%	59	33.0%
	(空白)	181	20.3%	101	24.6%	85	47.5%
散歩で外出する頻度はどれくらいですか	ほぼ毎日	239	26.8%	72	17.5%	9	5.0%
	週 4, 5 日	77	8.6%	29	7.1%	3	1.7%
	週 2, 3 日	127	14.3%	41	10.0%	25	14.0%
	週 1 日	44	4.9%	26	6.3%	11	6.1%
	週 1 日未満	76	8.5%	69	16.8%	43	24.0%
	(空白)	328	36.8%	174	42.3%	88	49.2%

表 1 5 外出を控える理由（地区別）

(単位：人)

区 分	栄地区	若佐地区	市街地区	浜佐呂間地区	富富士・若里地区	計
病気	8 (6.8%)	10 (4.1%)	50 (6.5%)	10 (4.8%)	8 (5.8%)	86 (5.8%)
障害	2 (1.7%)	4 (1.6%)	21 (2.7%)	4 (1.9%)	3 (2.2%)	34 (2.3%)
痛み	22 (18.6%)	42 (17.1%)	123 (16.0%)	40 (19.0%)	21 (15.1%)	248 (16.7%)
トイレの心配	6 (5.1%)	9 (3.7%)	37 (4.8%)	6 (2.9%)	5 (3.6%)	63 (4.3%)
聴力低下	5 (4.2%)	13 (5.3%)	30 (3.9%)	14 (6.7%)	9 (6.5%)	71 (4.8%)
視力低下	7 (5.9%)	6 (2.4%)	31 (4.0%)	9 (4.3%)	4 (2.9%)	57 (3.8%)
楽しみがない	12 (10.2%)	9 (3.7%)	25 (3.3%)	10 (4.8%)	3 (2.2%)	59 (4.0%)
経済的理由	1 (0.8%)	6 (2.4%)	21 (2.7%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	30 (2.0%)
移動手段	9 (7.6%)	11 (4.5%)	43 (5.6%)	10 (4.8%)	8 (5.8%)	81 (5.5%)
その他	2 (1.7%)	2 (0.8%)	6 (0.8%)	2 (1.0%)	3 (2.2%)	15 (1.0%)
(実人数)	118	245	769	210	139	1481

表16 週に1回以上は外出していますか（地区別）

（単位：人）

住所	はい			いいえ			未記入			計
	人数	割合	割合	人数	割合	割合	人数	割合	割合	
共立	29	72.5%	72.9%	9	22.5%	24.6%	2	5.0%	2.5%	40
大成	31	88.6%		3	8.6%		1	2.9%		35
栄	10	50.0%		10	50.0%		0	0.0%		20
啓生	16	69.6%		7	30.4%		0	0.0%		23
栃木	28	93.3%	84.9%	2	6.7%	12.7%	0	0.0%	2.4%	30
川西	17	73.9%		4	17.4%		2	8.7%		23
中園	14	77.8%		4	22.2%		0	0.0%		18
若佐	102	89.5%		9	7.9%		3	2.6%		114
武士	15	75.0%		4	20.0%		1	5.0%		20
朝日	10	83.3%		2	16.7%		0	0.0%		12
富丘	22	78.6%		6	21.4%		0	0.0%		28
西富	173	82.4%		32	15.2%		5	2.4%		210
北	44	83.0%	81.8%	6	11.3%	14.8%	3	5.7%	3.4%	53
宮前町	231	81.6%		42	14.8%		10	3.5%		283
永代町	81	81.0%		15	15.0%		4	4.0%		100
幸町	41	85.4%		6	12.5%		1	2.1%		48
東	19	86.4%		3	13.6%		0	0.0%		22
知来	40	75.5%		10	18.9%		3	5.7%		53
仁倉	40	69.0%		74.3%	14		24.1%	21.0%		4
浜佐呂間	86	72.9%	26		22.0%	6	5.1%		118	
幌岩	26	89.7%	3		10.3%	0	0.0%		29	
浪速	4	80.0%	1		20.0%	0	0.0%		5	
富武士	56	76.7%	73.4%	10	13.7%	20.1%	7	9.6%	6.5%	73
若里	46	69.7%		18	27.3%		2	3.0%		66
計	1181	79.7%	79.7%	246	16.6%	16.6%	54	3.6%	3.6%	1481

図15 週に1回以上は外出をしていますか

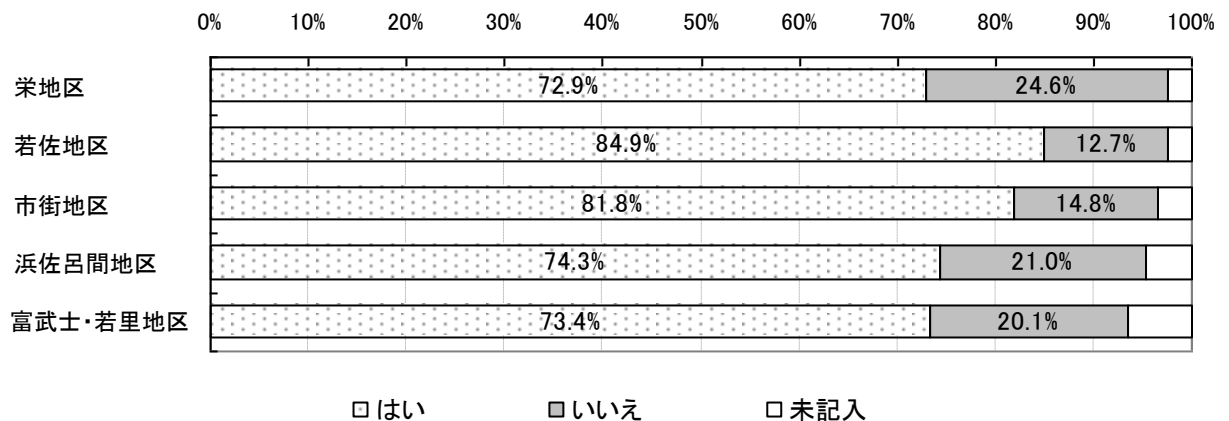


表 17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（地区別）

（単位：人）

住所	はい		いいえ		未記入		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
共立	22	55.0%	17	42.5%	1	2.5%	40
大成	10	28.6%	24	68.6%	1	2.9%	35
栄	15	75.0%	5	25.0%		0.0%	20
啓生	7	30.4%	16	69.6%		0.0%	23
栃木	9	30.0%	19	63.3%	2	6.7%	30
川西	8	34.8%	14	60.9%	1	4.3%	23
中園	6	33.3%	12	66.7%		0.0%	18
若佐	28	24.6%	80	70.2%	6	5.3%	114
武士	12	60.0%	8	40.0%		0.0%	20
朝日	10	83.3%	2	16.7%		0.0%	12
富丘	13	46.4%	15	53.6%		0.0%	28
西富	71	33.8%	133	63.3%	6	2.9%	210
北	19	35.8%	31	58.5%	3	5.7%	53
宮前町	95	33.6%	178	62.9%	10	3.5%	283
永代町	32	32.0%	65	65.0%	3	3.0%	100
幸町	23	47.9%	25	52.1%		0.0%	48
東	9	40.9%	13	59.1%		0.0%	22
知来	25	47.2%	25	47.2%	3	5.7%	53
仁倉	19	32.8%	36	62.1%	3	5.2%	58
浜佐呂間	52	44.1%	59	50.0%	7	5.9%	118
幌岩	8	27.6%	21	72.4%		0.0%	29
浪速	3	60.0%	2	40.0%		0.0%	5
富富士	20	27.4%	47	64.4%	6	8.2%	73
若里	21	31.8%	40	60.6%	5	7.6%	66
	537	36.3%	887	59.9%	57	3.8%	1481

図 16 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

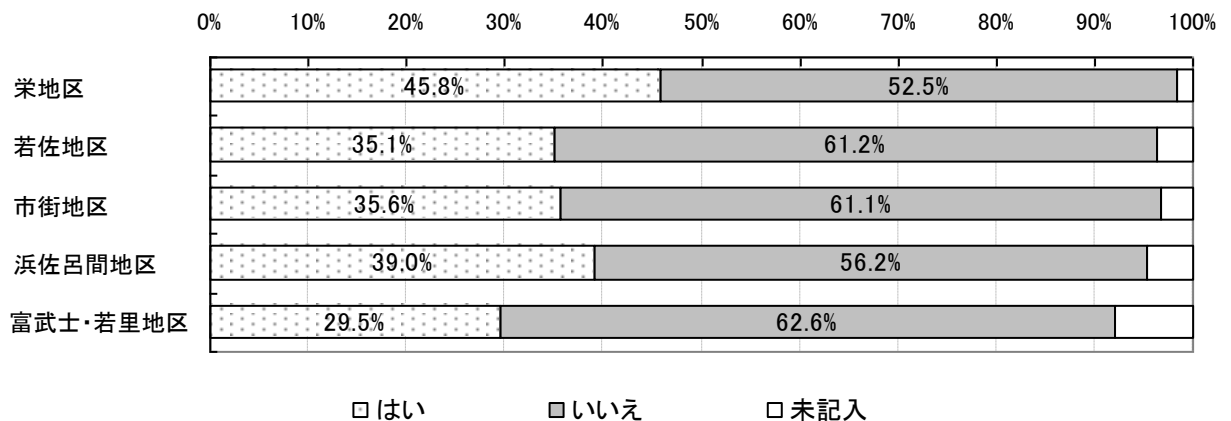


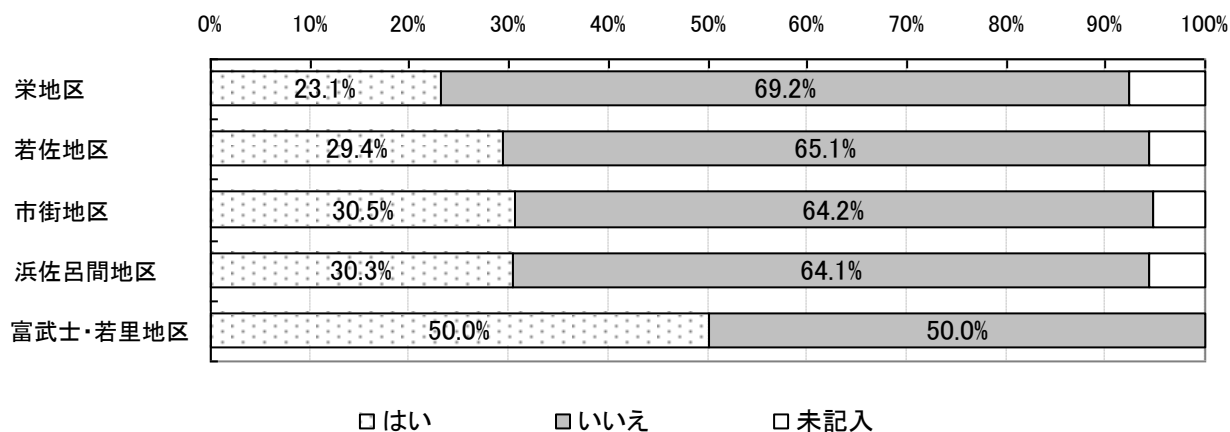


表 18 外出を控えていますか（地区別）

（単位：人）

住所	はい		いいえ		未記入		計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
共立	15	37.5%	20	50.0%	5	12.5%	40
大成	12	34.3%	22	62.9%	1	2.9%	35
栄	14	70.0%	5	25.0%	1	5.0%	20
啓生	7	30.4%	16	69.6%		0.0%	23
栃木	7	23.3%	19	63.3%	4	13.3%	30
川西	9	39.1%	13	56.5%	1	4.3%	23
中園	5	27.8%	13	72.2%		0.0%	18
若佐	30	26.3%	77	67.5%	7	6.1%	114
武士	6	30.0%	14	70.0%		0.0%	20
朝日	6	50.0%	6	50.0%		0.0%	12
富丘	7	25.0%	20	71.4%	1	3.6%	28
西富	54	25.7%	142	67.6%	14	6.7%	210
北	16	30.2%	33	62.3%	4	7.5%	53
宮前町	85	30.0%	187	66.1%	11	3.9%	283
永代町	25	25.0%	71	71.0%	4	4.0%	100
幸町	19	39.6%	26	54.2%	3	6.3%	48
東	10	45.5%	12	54.5%		0.0%	22
知来	19	35.8%	29	54.7%	5	9.4%	53
仁倉	17	29.3%	39	67.2%	2	3.4%	58
浜佐呂間	40	33.9%	69	58.5%	9	7.6%	118
幌岩	7	24.1%	21	72.4%	1	3.4%	29
浪速	1	20.0%	4	80.0%		0.0%	5
富富士	17	23.3%	50	68.5%	6	8.2%	73
若里	21	31.8%	41	62.1%	4	6.1%	66
	449	30.3%	949	64.1%	83	5.6%	1481

図 17 外出を控えていますか（地区別）



### 10) 栄養・口腔について

『固いものが食べにくくなりましたか』『お茶や汁物等でむせることがありますか』『口の渇きが気になりますか』という咀嚼機能・嚥下機能・口腔乾燥の口腔機能項目について、二次予防対象者・介護認定者では40～50%の方に機能の低下がみられていました。一般高齢者については10%程度でしたが、『固いものが食べにくくなった』は14.8%であり、咀嚼機能の低下を感じられていました。口腔清掃や歯科受診については大きな変化はみられなく、習慣化した行動となっていることがうかがえます。

地域別にみると、富武士・若里地区で口腔機能低下の方が少ない傾向があり、義歯の使用者の割合が他よりも低いことや、かみ合わせの不具合を感じる方が少ないことも誘因になっていると考えられます。

二次予防対象者・介護認定者では体重減少のある方が2割おり、「加齢による衰弱」が介護要因にもなっていることから、体重減少によりさらに体力の低下を感じやすくなると考えられます。

表19 栄養・口腔の状況（介護度別）

区 分	一般高齢者		二次予防対象者		介護認定者	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	8.7%	78.3%	19.6%	67.2%	20.7%	62.0%
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	14.8%	82.2%	53.1%	44.5%	52.6%	44.5%
お茶や汁物等でむせることがありますか	9.5%	88.0%	41.1%	56.5%	40.2%	55.9%
口の渇きが気になりますか	11.1%	83.3%	51.6%	43.8%	44.7%	46.9%
歯磨きを毎日していますか	83.0%	12.9%	83.4%	13.7%	82.7%	14.0%
定期的に歯科受診（定期健診を含む）をしていますか	28.3%	66.7%	24.2%	69.7%	14.0%	79.9%
入れ歯を使用していますか（部分入れ歯を含む）	70.1%	26.5%	79.7%	18.3%	83.2%	13.4%
（入れ歯のある方のみ）噛み合わせは良いですか	61.8%	7.1%	60.9%	16.9%	59.2%	21.8%
（入れ歯のある方のみ）毎日入れ歯の手入れをしていますか	66.1%	2.8%	73.6%	4.6%	77.1%	6.1%

区 分	一般高齢者		二次予防対象者		介護認定者	
	該当	非該当	該当	非該当	該当	非該当
BMI18.5未満	4.6%	86.6%	7.3%	82.4%	6.8%	67.2%

図18 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（地区別）

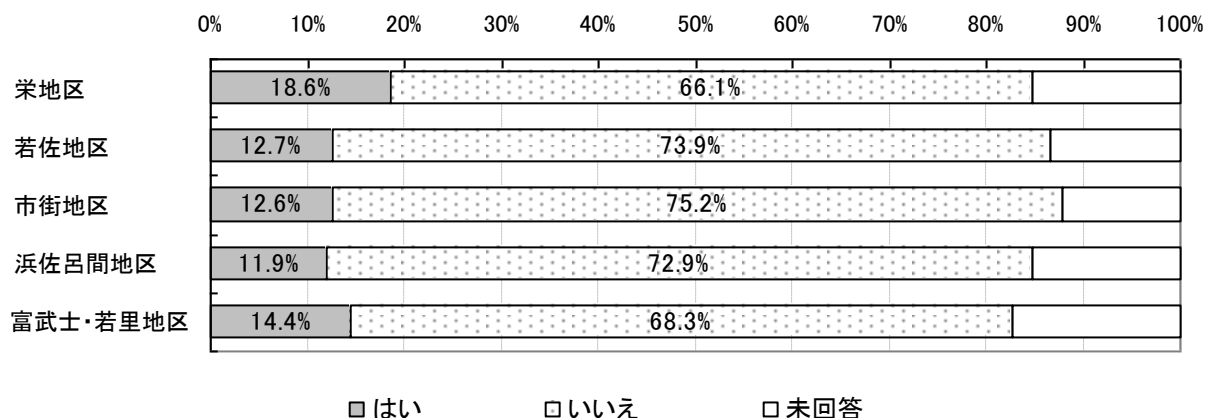


図 19 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

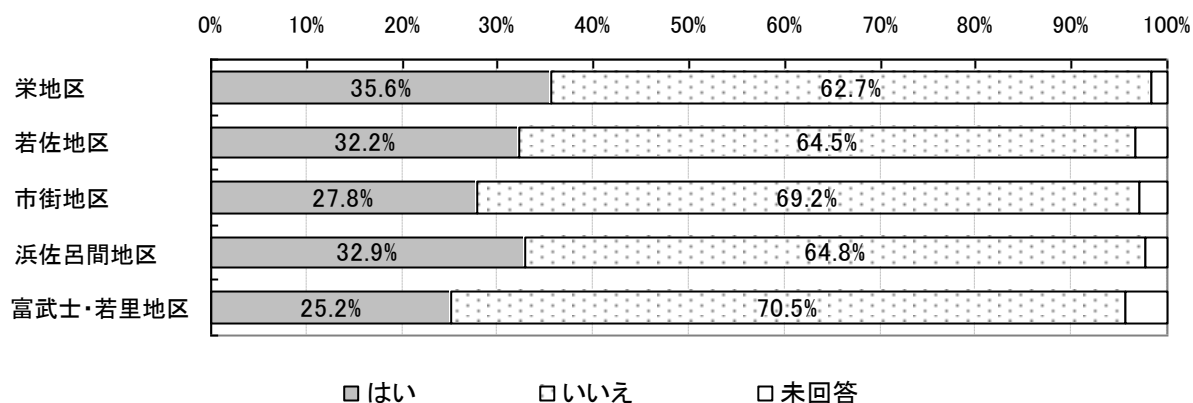


図 20 お茶や汁物等でむせることがありますか

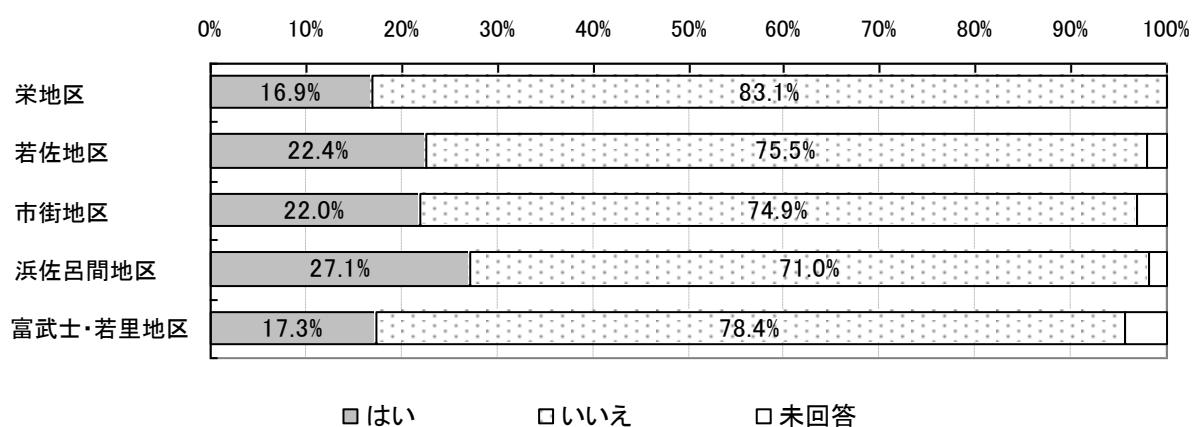


図 21 口の渇きが気になりますか

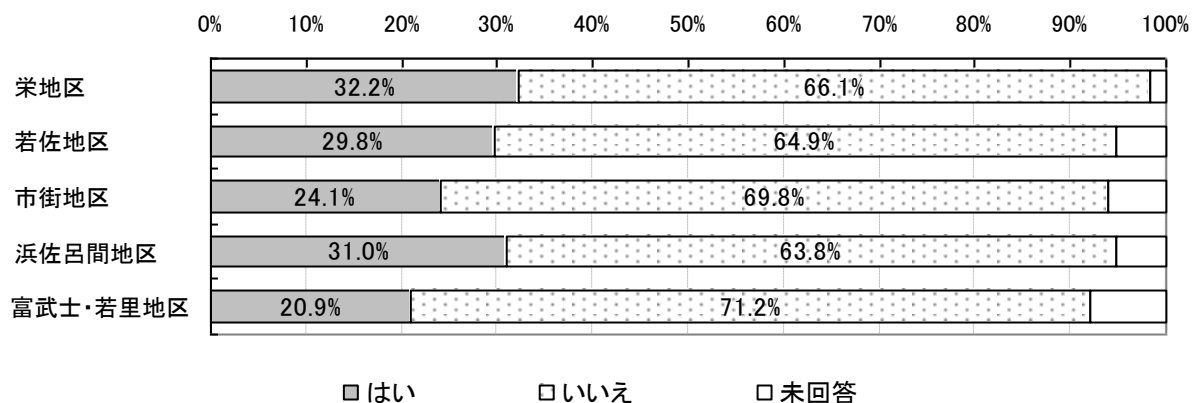
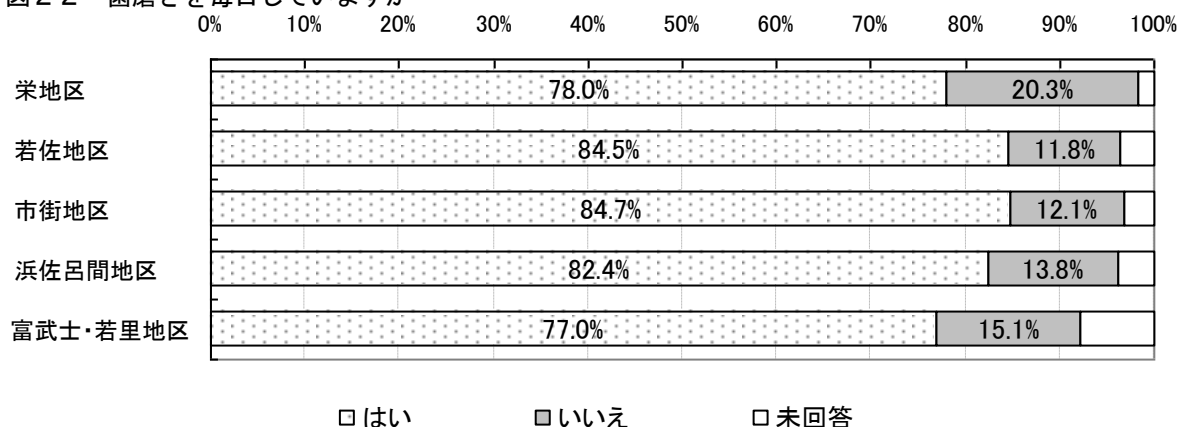


図 22 歯磨きを毎日していますか



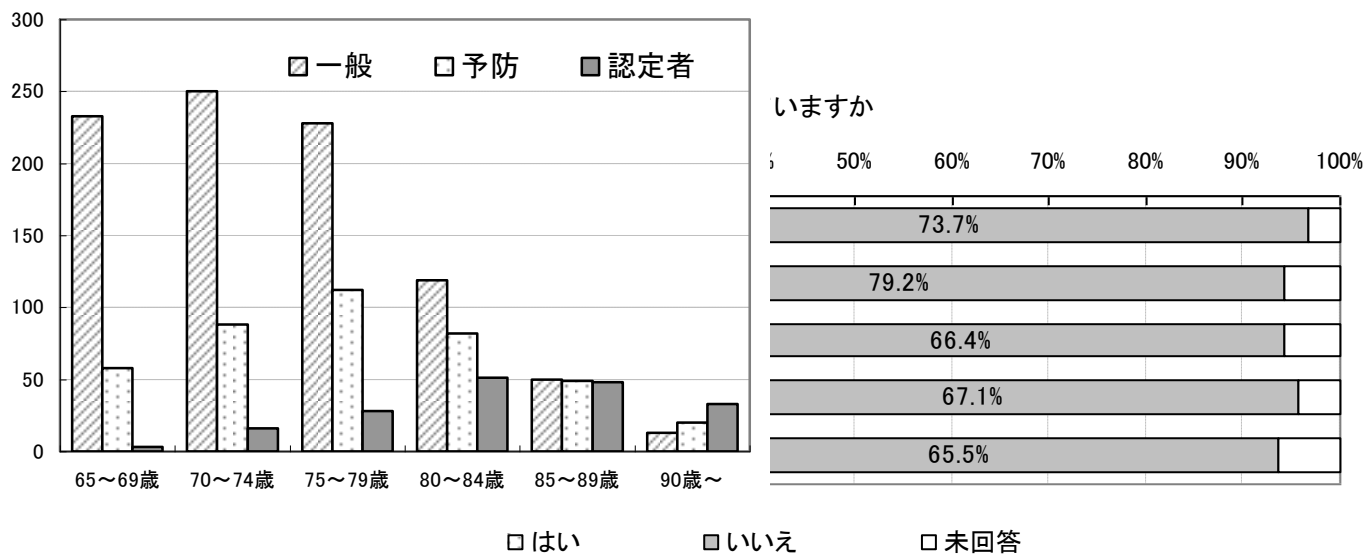


図 2 4 入れ歯を使用していますか（部分入れ歯を含む）

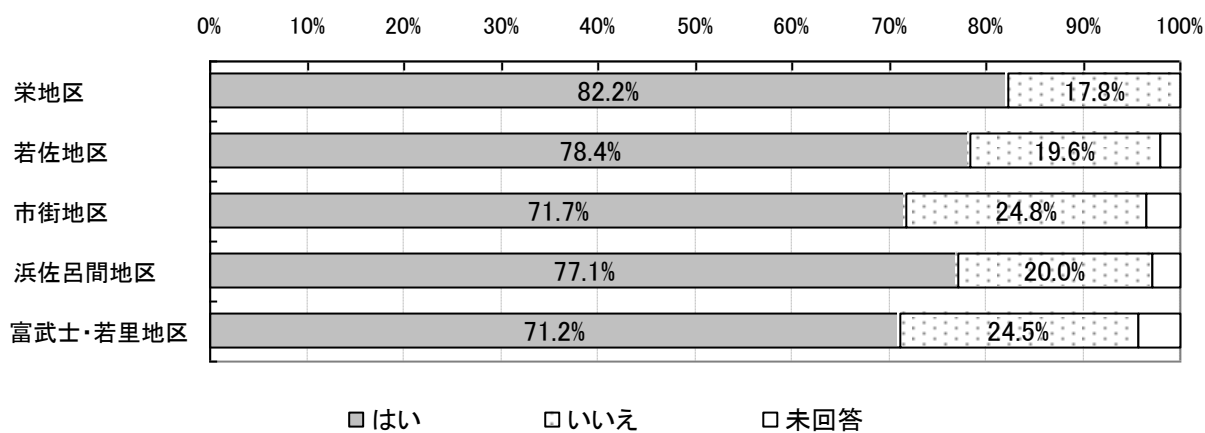


図 2 5 （入れ歯のある方のみ）噛み合わせは良いですか

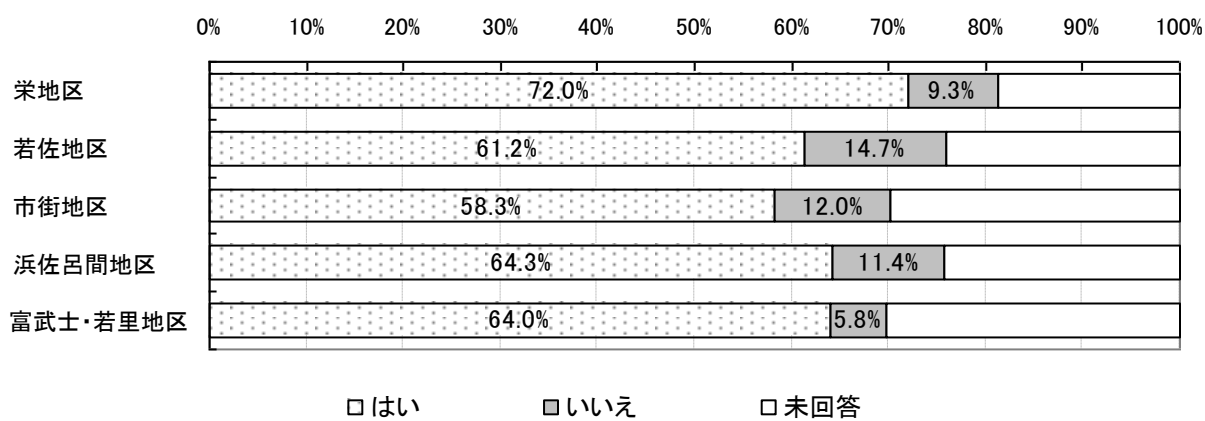


図 2 6 （入れ歯のある方のみ）毎日入れ歯の手入れをしていますか

